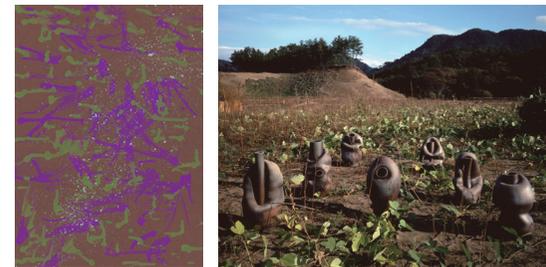


CONTENTS

No.270 2021年10月号 草月指導者連盟機関誌

Newsletter	26	22	20	18	14	12	6	4	2
01	Keep Right on Talking! No.78	カレンダー							
02	20th Anniversary Akane Teshigahara Solo Exhibition "RELEASE"	インフォメーション							
03	Message from Kiri Teshigahara	本部教室/草月WEST							
04	One Two Step ㉗								
05	Information								
06	WEB IEMOTO SEMINAR for Sogetsu Teachers Association								



表紙・画=勅使河原茜
表紙・写真=勅使河原宏 陶作品《地蔵》シリーズ (撮影:土田ヒロミ)
表紙デザイン= N.G.inc.
印刷=東洋紙業株式会社
制作協力=丸紅フォレストリンクス株式会社



発行日=2021年10月1日 編集・制作=草月文化事業株式会社 出版部 編集制作室 発行=一般財団法人草月会
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 TEL = 03-3408-1154 FAX = 03-3405-4947 E-mail = members@sogetsu.or.jp

SOGETSU Annual Exhibition Flowers and Me

2021. 11. 11 thu - 12. 10 fri
@sogetsu kaikan

家元継承20周年記念 第102回草月いけばな展
マイ・ストーリー ～私の花語り～
2021年11月11日(木)～12月10日(金)

花はいけたら、人になる。
勅使河原蒼風のこの言葉の通り、いけばなは私たちの心のかたちそのものです。
花を通して私を見つめ、私を知り、花を介して私を表現する。
この営みの繰り返しが花をいけることなのだと思います。
息苦しい今だからこそ、作品の中にあなた自身を存分に解き放ってほしい。
植物が映し出す皆さん一人ひとりの物語を心から期待しています。

草月流家元 勅使河原 茜

家元継承20周年記念 第102回草月いけばな展
マイ・ストーリー ～私の花語り～
2021年11月11日(木)～12月10日(金) ※各期2日間、9期制

10:30～17:30 (入場は閉場30分前まで)

1期: 11月11日(木)・12日(金)	2期: 11月14日(日)・15日(月)	3期: 11月18日(木)・19日(金)
4期: 11月21日(日)・22日(月)	5期: 11月25日(木)・26日(金)	6期: 11月28日(日)・29日(月)
7期: 12月2日(木)・3日(金)	8期: 12月5日(日)・6日(月)	9期: 12月9日(木)・10日(金)

会場: 草月会館 入場料: 無料
主催: 一般財団法人草月会 監修: 勅使河原茜家元

新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となる本展は、
感染拡大予防策を徹底し、安全に配慮しながら開催します。皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

お問い合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

※天災及びその他不可抗力の事由により、本展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

今

年の夏も新型コロナウイルスに翻弄され、気づけば秋を迎えてしまいました。季節の変わり目は、ただでさえ体調をくずしがちです。どうぞ引き続き体には気をつけてお過ごしください。

さて、前号でもお伝えしたとおり、7月の草月WESTに続き、11月に東京でも草月会館の裏手のアトリエで家元継承20周年記念の個展を開催することになりました。アトリエでの思い出と言えば、まだ私が幼かったころ、

だから、おしゃべりはやめられない

78

勅使河原茜

創作の原点となる場所で

はないはず。彫刻作品を数多く制作していた祖父ですから、おそらく日々アトリエに籠もっては、巨木と向かい合い創作活動に励んでいたのでしょう。そして、私が秘書として草月会に入る1年ほど前、1984年4月に現在のアトリエが完成しました。当時は2階に父・宏のオフィスがあり、私もたびたび足を運んだものです。

今回の個展を開催するにあたり会場を色々検討す、
る中、ふっと湧いたのがアトリエのことでした。実は周辺の地域の再開発に伴い、残念ながらそう遠くない将来、このアトリエは他の場所に移転する予定になっています。私にとっても思い出深い場所であっただけに、ただクローズさせてしまうのは忍びなく、最後の締めくくりとしてここで個展を開催することにしました。決め手となったのは、単に移転するからというだけではありませ



草月会館の裏手にあるアトリエ。皆さんご存じでしょうか？
サマーセミナーなど、この建物内での講習会もありました。
アトリエでの展示会を、どうぞお楽しみに！

また、誤解を恐れずに言えば、アトリエであればなんでもやりたい放題です。壁や床が傷つくのを過剰に恐れることもなく、作品が建物から多少はみ出したって大丈夫。あくまでたとえばの話ですが、仰天するほど大きなオブジェを作ったとしても、「これ、どうやって会場まで運ぶの？」「搬入口、通れるかな……」といった心配をする必要もありません。もちろん安全面には十分配慮しますが、この自由度の高さは他ではありえないこと。いささか突飛な会場に驚かれた方もいるかもしれませんが、草月の新しい可能性、そして未来への希望を表現するのに、アトリエほどふさわしい場所はないと思っています。

一方、課題もあります。展示会用に作られた場所ではありませんから、決まった導線などは一切ありません。また、いけばなにおいては、光も重要な要素のひとつ。照明の位置や、外光をどう取り入れるかなど、考えなければ

ならないことは山ほどあります。しかし、困難が待ち受けていそうなほど気持ちが高揚するのは、きっと勅使河原家の性分なのでしょう。祖父と父も大いにインスパイアされたであろうこの場所で、私にしかできない展示会にしたいと、今から意気込んでいます。なかなか声を大にして「是非いらしてください！」と言える状況にないのがもどかしいところではありますが、草月WESTでの個展のときと同様、皆さんの笑顔に出会えることを楽しみにしています。

勅使河原茜展 ひらく

20th Anniversary
Akane Teshigahara
Solo Exhibition
"RELEASE"

創造の原点となる場所で—
草月の心臓部ともいえるアトリエが、
家元個展の舞台となります。
いけばなによってどのように空間が変貌するのか、
どうぞご期待ください。

いけばな草月流 家元継承20周年記念
2021年11月12日(金) - 17日(水) 草月会館別館アトリエ

〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-27 10:30~17:30 (入場は開場30分前まで)

入場料: 1,000円(チケットは10月4日(月)から販売) 主催: 一般財団法人 草月会

お問合せ: 草月会事業課 TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

※天災及びその怕不可抗力の事由により、本展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

運営ボランティア募集!

会場運営のお手伝いに興味のある方は、総務課までお問い合わせください。

草月学習者の方であれば資格は問いません。習練のご協力をお待ちしております。

総務課 TEL: 03-3408-1154 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: somu@sogetsu.or.jp

◎草月

文化祭に出展

2020年11月14日～16日
徳島／美馬市地域交流センターミライズ
脇町教室16名 指導：出村丹雅草



文化祭への出展。いけばな部門は草月だけだったが、工夫を凝らした表現が楽しいと好評で、大いに賑わった。

ヘルスケア・アートとして医療現場に展示

2020年11月3日～2021年3月31日
神奈川／済生会横浜市東部病院 3Fロビー
柳沢香翠



「なごやヘルスケア・アートマネジメント講座」を受講し、病院に制作展示。医療環境向上におけるいけばなの重要性をPR。

生花鈴木親子教室

2020年12月13日
埼玉／幸手市中央公民館
指導：鈴木宏子



コロナ禍で楽しみが減る中、ささやかなイベントを時短で開催。参加した11名の子どもたちが制作を楽しんだ。

クリスマススワッグ作り講習会

2020年12月7日
千葉（市川市）／行徳公民館
主催：堀江祥雪



例年リリースの講習会を行っていたが、今回は話題のスワッグに10名が挑戦。初めてのスワッグ作りを楽しんだ。

駅に展示

2020年12月14日～16日
埼玉／JR大宮駅コンコース
石神聖水



コロナ禍の師走だったが、華やかな季節を意識し、駅を歩き交う人々の心の癒やしとなるよう願っていった。

駅を彩る

2020年12月13日～2021年1月31日
宮崎／JR日豊本線佐土原駅
樋口南草 他



赤白を基調としたクリスマス花を制作。水なしの造形作品でユニークに仕上げた。

テレビドラマでいけばな

2019年7月～放映
日本テレビ系列・Hulu『ボイス110緊急指令室』
大谷美香



連ドラのセットをいけばなで装飾。猟奇殺人犯を思わせる「赤い血」をテーマに豪邸の床の間という設定。日替わりで6作いった。

小田原城アートNOW2019

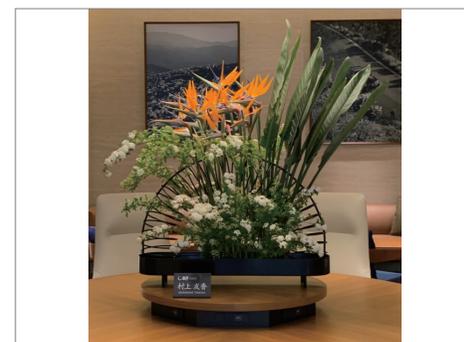
2019年6月1日～30日
神奈川／小田原城址公園銅門広場
上原瑞光



藤づるで、銅門前にたたくむかのような龍を制作。枯れ松とあざみを龍の胴体からみつけた。

レクサスのショールームに

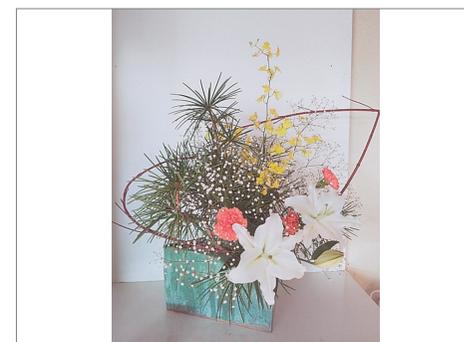
2020年4月16日～28日
愛媛／レクサス松山城北
村上友香



鉄花器のインパクトと面白さ、極楽鳥のようなストレリチアの鮮やかなオレンジを楽しんでほしいという思いでいった。

駅を彩る

2019年12月7日～30日
宮崎／JR日豊本線佐土原駅
坂元清草



師走の慌ただしい中、駅の利用者の癒やしになればと制作。「きれいですね」と声をかけられ、心温まる思いだった。

開館20周年記念 郷土の版画家 山口源作品展

2020年10月3日～25日
静岡／モン ミュゼ沼津（沼津市庄司美術館）
清水賢子



版画家・山口源さんの作品約60点が展示された会場にいける。豆柿、カンボクの実等で、秋の里山をイメージして制作。

『大人が知らない!!日本史の新常識5』にいける

2020年9月6日
東京（港区）／増上寺 大広間
横井紅炎



BSフジの歴史番組の装飾を行う。増上寺の襖絵に描かれたつせんとゆりの他、様々な花材を使用。

正月花

2020年12月26日～2021年1月23日
高知／五台山 竹林寺
井上佐芳・常石春紅・濱田青芳・川上湧芳



毎年の正月花。コロナ禍での前参りを考慮し、例年より早めのいけこみに。色合いを抑えつつ、新春の雰囲気演出。

郵便局に正月装飾

2020年12月26日～2021年1月8日
大阪／豊中東泉丘郵便局
神武祥染



コロナ禍での展示ということもあり、花の色は少し抑えめにし、いけこみ、いけ替えも短時間で行った。

エントランスにいける

2020年12月27日～2021年1月7日
東京(新宿区)／伊勢丹会館
栗生紗世社中6名



十数年前より続いている、伊勢丹会館エントランスの正月花。今回は竹を使い、赤を基調に華やかに仕上げた。

高齢者施設に正月花

2020年12月27日～2021年1月7日
新潟(長岡市)／福祉の駅千秋
グループ 遊 3名



高齢者施設の玄関に「ご家族との対面もままならない中、少しでも人居者の方々に癒やしを」と、依頼をされ制作。

高知龍馬空港ウェルカムフラワー

2020年12月28日～2021年1月3日
高知龍馬空港
高知県支部



コロナ禍で閑散とした空港でのフラワーワーク。新型コロナウイルスの早い収束を願いながらいけた。

冬のお稽古の松飾り

2020年12月28日～30日
神奈川(藤沢市)／自宅
主催：伊東香恵



生の植物を使った松飾り作り。何十年と続けており、生徒に大人気。玄関にも飾り、道行く人を楽しませている。

小さな展覧会～場にいける～

第1回：2020年12月19日・20日、第2回：2020年12月26日・27日
長崎／レンタルスペース「wabi」「呂色の梁」
小川葉江社中



古民家をリノベーションしたスペースで展覧会を開催。テーブル、床壁、押入れ等々、場を楽しみながらいけた。

萩美祭2020 窯元をたずねていける

2020年12月下旬～
山口(萩市・下関市・長門市)／萩焼工房土和窯・中島陶房・坂倉善右衛門窯
金子凜草



地域の芸術で交流することを目的としたアートイベントを今回はウェブで。萩焼の窯元を訪れてデモを行い、配信した。

テーマは「鹿児島の花で暮らしに彩りを!!」

2020年12月22日～27日
かごしま県民交流センター
山田草邦



「フラワーフェスタ」が中止となった代わりに、県民交流センター、空港等に、様々な花業界の方々と交代でいけた。

岩田神社 正月用竹作品

2020年12月20日～2021年1月10日
香川(高松市)／藤の社 飯田郷社 岩田神社
香川県支部有志15名



藤の花で有名な神社で正月用の竹作品を制作。住宅展示場での支部展を機に依頼され、今回で2回目となる。

高齢者施設のエントランスにいける

2020年12月26日～2021年1月7日
奈良(橿原市)／ぼれぼれケアセンター白樺
徳本星佳・中牟田寧智・早川邦董



大王松、葉ぼたん、ユーカーリ等、花材の多くは地域の方のご厚意によるもの。着色竹や藤つるで新春を表現した。

百貨店だった場に

2020年12月26日～2021年1月5日
徳島／アミコ東館(旧そごう徳島店)
徳島県支部



そごう徳島店の閉店に伴い、2階正面玄関と空き店舗へのお正月花の依頼を受けて制作。華やかな作品で喜ばれた。

第34回伊丹いけばな展

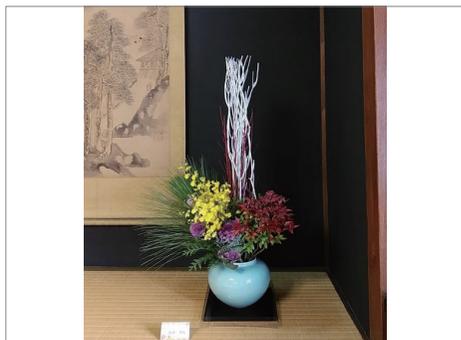
2021年1月9日・10日
兵庫／伊丹市立図書館ことば蔵 交流フロア北側
中務美泉・豊住匠泉・宮崎知泉・岡田信泉



伊丹市いけばな協会と伊丹市主催による市民の安らぎと交流のための展覧会。コロナ禍のため、今回は6流派のみ出展。

北海道指定有形文化財でフラワー

2021年1月4日～6日
北海道(札幌市)／旧永山武四郎邸
草月流グループフリーデル



松を使った正月らしい作品を展示。施設側からは花材費の補助や、寒冷地ならではの空調調節等、温かい配慮が。

北野町成人式

2021年1月10日
福岡(久留米市)／北野生涯学習センター本館
原千秋・堀内りつ子



コロナ禍で制限のかかる中、ステージの祝い花は例年どおり。幸福と、準備をしてくれた方々への感謝をこめて制作。

住宅展示場にいける

2021年1月9日～17日
岐阜／住宅展示場
山室慶祐



住宅展示場のオープンにて。各部屋にいけばなを展示し、来場者から「より温もりを感じますね」との声をいただいた。

新聞に掲載

2021年1月19日
山陽新聞
甲怒青修



パニック障害をいけばなで克服した経験や、現在の活動の様子等が地元の新報に掲載された。

華あそび

2021年1月10日・11日
京都(精華町)／けいはんな記念公園 水景園・観月楼
けいはんな記念公園・草月流いけばな教室7名



精華町の「華」をテーマとした、正月の華やぎを楽しむ恒例イベント。今回はいけばな教室の作品展を中心に実施。

吉田正音楽記念館「正月迎え花」

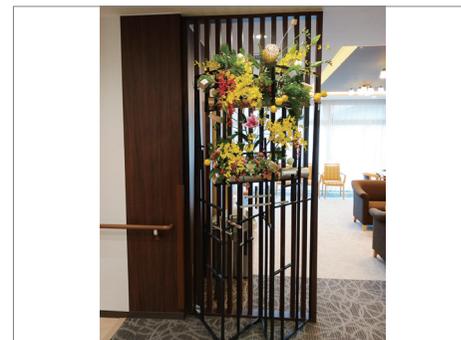
2020年12月29日～2021年1月5日
茨城(日立市)／吉田正音楽記念館
萩谷瀧清・杉山貴彩



エントランスと展望カフェに正月の迎え花を制作。元気・明るさ・パワーを感じる作品作りを意識し、好評を博した。

老人ホームの正月花

2020年12月28日～2021年1月7日
東京／イリーゼ練馬中村橋
鈴木美茜



コロナ禍で外出や面会ができない中、松、実もの、色とりどりの花材で、明るいお正月を感じてもらえるようにいた。

令和3年正月の迎え花

2020年12月30日～2021年1月10日
岡山(美作市)／清次郎の湯 ゆのごう館
大橋義延



5年以上続く迎え花。コロナ禍の今回も女将からの依頼を受けて制作。草月の魅力アピールした。

「ジャパンスピリッツin京都 特別展」～ハナノチカラ～

2020年12月29日～2021年1月5日
駅前広場ホテルグランヴィア京都前 他
花崎陽文



毎年年末年始に行われる京都駅でのいけばな展示。今回は特別展として京都いけばな協会全31流派が出展した。

新春モーターショー

2021年1月3日～9日
福岡／九州マツダ福重店 ショールーム
山口松苑・山口岳峰



店内での大作制作は初。コロナ禍でも明るい会場にしたいと思いをこめた。マツダのコミュニケーションマガジンにも掲載。

お正月花

2020年12月30日～2021年1月31日
兵庫／株式会社西松屋姫路店
草月 Egret (大向佐都・加納花優・菅野桂映・堀田丹順)



前年に続き正月花を制作。通りを行き交う人に声をかけられながら楽しくいけこみ。成人式の撮影スポットにも。

家元によるスペシャルデモンストレーションを、期間限定で配信!

家元継承 20 周年記念 特別プログラム

記憶の花束

配信期間

[日本語版・英語字幕版]

10月11日 [月] — 12月11日 [土] (予定)

最新の「WEB 家元講習会」は、家元オンリーの特別デモンストレーションをお届けします。
草月会の広報部勤務時代から副会長を経て家元へ。
現在に至るまでを振り返り、心に残るイベントや秘話を紹介しながら
過去のエピソードにちなんだデモンストレーション、豪華 9 作品を披露します。
皆さんの記憶に残るイベントは登場するでしょうか。
今回限りのスペシャルプログラムを、どうぞお見逃しなく!

【出演・監修】勅使河原茜家元

【受講料】6,000円(税込) ※前号の告知より価格が変更となりました。

【受講方法】草月メンバーズサイト、またはスタートガイド(『草』4月号同封)をご覧ください。

※お支払いは、カード決済の他、銀行振込、草月会館会員サービス部、草月 WEST 窓口でもできます。

この場合は入金処理まで1週間程かかることもありますのでご了承ください。

動画配信サイトによる「WEB家元講習会」とは

スマートフォンやパソコンなどのインターネット環境があれば、いつでもどこでも好きなときにご受講ができる新しい講習会方式です。また、一度購入したプログラムは配信期間中は何度でも繰り返しご覧になれる、一時停止や早送り・早戻しもできます。

視聴方法がわからない方へ、本部がサポートします! お気軽にお問合わせください。

お問合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp



思い出が紡ぐ、
デモンストレーション

静岡三菱自動車ショールーム (静岡/1988)
第4回北米セミナー (トロント/1993)
いけばなインターナショナルシンポジウム in イギリス (ダービシャー/1997)
ジャパンファッションフェア in 上海 (上海/2004)
日立 CM「紅い花」(2006)
80周年創流祭/80周年記念個展「私の花」(東京/2007)
北海道洞爺湖サミット (北海道/2008)
家元いけばな LIVE in 鹿児島 (鹿児島/2009)
第8回北米セミナー (フロリダ/2009)
香港支部 40周年・いけばなインターナショナル香港支部 50周年記念合同祝賀行事 (香港/2009)
オーストラリア・ニュージーランド草月 50周年記念イベント (シドニー/2010)
家元継承 10周年記念個展「KOKOROのかたち—勅使河原茜の花」(東京/2011)
インド草月 50周年記念イベント (ニューデリー/2016)
ゲント・フローラリア 2016 (ゲント/2016)
シンガポール草月 50周年記念イベント (シンガポール/2016)
その他、海外でのパフォーマンスや草月創流 90周年記念個展「HANA SO」、
家元継承 20周年記念「勅使河原茜展 むすぶ」等のエピソードもご紹介いたします。

20 Year Anniversary
Akane Teshigahara
勅使河原茜 家元継承 20周年

小さな実、大きな実



「実もの」と一口に言っても、その表情はさまざま。どこをどう見せたいのかを考えながらいけることが大切です。むらさきしきぶの繊細な線が引き立つよう淡い色の菊を合わせ、軽やかに、流れるように。

Even if we simply call them "fruiting plant materials," their expressions vary greatly.

It is important to create your work while thinking about how and where you want to show them. In this arrangement, I combined pale-colored chrysanthemums to emphasize the delicate lines of the Japanese beauty-berry so as to make the finished work lighter and flowing.

花材：どうだんつつじ、むらさきしきぶ、菊、流木 花器：青銅花器 サイズ：124×140×140cm
Materials: Enkianthus perulatus, Japanese beauty-berry, Chrysanthemum, Driftwood Vessel: Bronze vase



花材としてはちょっと珍しい青いレモン。器も含めた色の構成や空間を意識し、レモンとけいとう、それぞれの丸みが、まるで動いているかのように楽しくいけました。

The green lemon is not very commonly used as a material for ikebana.

With awareness of the composition of the colors, including that of the container, and the space, I enjoyed arranging the lemon and cockscomb as if their respective roundness was moving.

花材：レモン、けいとう 花器：陶器花器 サイズ：57×50×43cm
Materials: Lemon, Cockscomb Vessel: Ceramic vase



豆柿はびっしりと面的に実ります。その特徴をいかし、ななかまどの美しいグラデーションと対比させました。器の内側の黄色もアクセントとしてきかせています。

The date plum bears small fruits closely on a surface. Taking advantage of this feature, it is contrasted with the beautiful gradation of *Sorbus commixta*.

The yellow color inside of the vase also works well as an accent.

花材：ななかまど、豆柿、けいとう 花器：陶器花器 サイズ：114×120×101cm
Materials: *Sorbus commixta*, Date plum, Cockscomb Vessel: Ceramic vase



大きな実をいけるときは、葉の残し方にも注意が必要です。

かりんの葉をあえて少し残すことで、より表情が豊かになり、やわらかな雰囲気も加わりました。

When using large fruits, you also need to be careful how you keep the leaves.

Deliberately leaving some of the leaves of the Chinese quince makes the work more expressive and adds a softer atmosphere.

花材：かりん、菊（2種） 花器：自作陶器花器 サイズ：105×110×48cm
Materials: Chinese quince, Chrysanthemum Vessel: Self-made ceramic vase



勅使河原宏 いけばな作品
 つねつめもぎ、菊

陶器花器

撮影：藤森武

Ikebana work by

Hiroshi Teshigahara

Japanese bittersweet,

Chrysanthemum

Ceramic vase

Photo: Takeshi Fujimori

没後20年企画

勅使河原宏の言葉と花 ⑩

僕たちは

好意を寄せてくれる人たちだけに観
 せて満足してはられない。僕が現

実と関わりをもつ限り、まるでソッポを向いている人たちにま
 で呼びかけて、観てもらわなければならない。僕はそうする
 ことで、はじめて社会に参加することができるとわけたから。

Project for the 20th Memorial of the Third Iemoto

April 2021 marks the 20th year since the death of the third Iemoto, Hiroshi Teshigahara. We introduce the
 "Words of Hiroshi". Let's unravel where his unconventional and unique way of thinking came from.

We can't be satisfied with showing our work only to people who are nice to us. While maintaining a
 hold on reality, I need to reach out to those who do not show any interest in my work, and get them to
 see it. Only by doing so am I able to contribute to society.

2021年4月に没後20年を迎えた第三の家元・勅使河原宏。

草月の大きな遺産である「宏の言葉」をお届けします。

常識にとらわれないその発想はどこから来るのか、読み取りましょう。

勅使河原宏の年表

1992年

オペラ『トゥーランドット』（フ
 ランス・リヨン）の演出・舞台
 美術を担当。

沿津御用邸記念公園「現代建築
 家茶室展」総合プロデュース。

1993年

「パリ日本文化祭・パリ大茶会」
 の総合プロデュースと作庭。

1996年

嚴島神社にて武満徹追悼演奏会
 「花舞台」を総合演出。

舞台や茶室にも竹を使い、数々
 のイベントの空間演出を手が
 けた。1996年にフランス芸
 術文化勲章（コマンドゥール）、
 1997年に勲三等瑞宝章を
 受章する。



「花舞台」撮影：池田紀章

（次号へつづく）

展覧会ハガキ・チケット・ポスターのご案内



ハガキ見本 (色は変更可能です)

支部展や社中展などでご活用ください!

【お申込み方法】

- ① 出版部までご連絡ください。お申込み用紙をファックスまたはメールにてお送りします。
- ② お申込み用紙にタイトルや日時などの展覧会内容を記入し、出版部へお送りください。
- ③ 記入内容をもとに、レイアウトデザインします。
- ④ デザインのチェック。記入した内容が入っているか、ご確認ください。
- ⑤ 完成したデータをお送りします。

●ハガキ

ハガキのデータ制作(表面のみ)	8,800円(税込)
ハガキのデータ制作(表面・裏面合わせて)	14,300円(税込)
オプション:地図作成(1点)	2,200円(税込)

●チケット

チケットのデータ制作(表面のみ)	8,800円(税込)
------------------	------------

●ポスター (ご希望のサイズでお作りします)

ポスターのデータ制作	8,800円(税込)
------------	------------

< 展覧会を応援! お得なセット割引 >

ハガキ(表面・裏面)とポスターのセット制作	19,800円(税込)
-----------------------	-------------

お問い合わせ [出版部・編集制作室]
 TEL : 03-3408-1158 / FAX : 03-3405-4947
 E-mail : info@sogetsu.or.jp

草月文化活動支援基金への
 ご協力ありがとうございます
 2021年7月~8月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。(掲載は一万円以上、敬称略)
 吉野青嵩、中村俊映、平石丹珠萌、京都支部、菊池冬純、花崎陽文、片山健、片山紅早、矢吹郷雪、和田紀瓶、SYC東京1、杉本青門、日向洋一、一の会
 嬉しい受賞
 萩谷瀧清さん(茨城県日立市、師範会理事)は、日立市内における文化活動において、長きにわたり芸術文化発展および振興に努めた功績が讃えられ、「日立市文化協会功労賞」を受賞しました。

モランジュ真紀子さん(東京都渋谷区、師範会理事)は、大阪市立美術館で開催された第42回IFA国際美術協会展2021の工芸部門において、IFA国際文化賞を受賞しました。
 計報
 岩館菊枝(香永)岩手県/理事
 二〇二二年八月一日 享年九十七歳
 雨宮米子(美洲)東京都/理事
 二〇二二年八月十日 享年九十一歳
 吉田梅子(梅汀)宮城県/顧問
 二〇二二年八月十八日 享年八十一歳
 能登容子(湍谷)富山県/理事
 二〇二二年九月三日 享年八十歳

図録販売のご案内

「水のない いけばな展」の全作品を収録した図録を販売中。花材も全て掲載しています。
 2,200円(税込) / A4/68ページ/カラー



お問い合わせ [事業課]
 TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947
 E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

コラボレーション展示

ロエベ「ボタニカルレインボー」
 発表記念展示
 8月26日~9月1日
 カサロエベ東京

ロエベ(LOEWE)の旗艦店、カサロエベ東京にて、草月流とのコラボレーション展示が行われた。植物を着想源とするフレグランスシリーズ「ボタニカルレインボー」の発表を記念したもので、茜家元によるいけばな作品と、勅使河原蒼風の彫刻作品が展示された。



左が蒼風の彫刻作品。右が茜家元のいけばな作品。

聖火式の花

東京2020オリンピック
 聖火リレー 出発式典
 3月25日
 Jヴィレッジ(福島県)

東京2020パラリンピック
 聖火フェスティバル
 福島県集火・出立式
 8月15日
 開成山陸上競技場(福島県)
 今年の夏、多くの感動が生まれた東京2020オリンピック・



東京2020オリンピック聖火リレー 出発式典での装花。

パラリンピック競技大会。聖火リレー出発式の舞台装花を草月流が担当した。オリンピック聖火リレー出発式典には、複数の流派が各所の装花に参加。草月流は、本部講師の加藤久美子さんと福島県支部が担当。サッカーナショナルトレーニングセンター・Jヴィレッジにて、県産の春の花木が華やかにいけられた。パラリンピックの聖火フェスティバル福島県集火・出立式には、福島県支部の有志の皆さんと本部アトリエ制作部による、竹とカラフルなトルコキキョウの美しい装花が、これから始まる熱戦を花で大いに盛り上げた。



東京2020パラリンピック聖火フェスティバル福島県集火・出立式での装花。

いけばなの多様性

第3回新しいいけばな主義
 7月14日~18日
 神奈川県民ホールギャラリー1

流派を超えた公募による現代いけばな作家の作品展「第3回新しいいけばな主義」が開催され、草月流からは、本部講師の日向洋一さんをはじめ12名の作家が参加した。これからのいけばな文化の多様性、また空間芸術として、画期的な表現を目指した大型作品が披露されるなか、今回のグランプリは本部講師の秋山美晴さんが受賞した。



秋山美晴さんの作品。

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
11/13 (土)	「瞬発力」の世界 一発想力を養い、 “新しい自分”を 発見	 石倉 松清	長いコロナ禍で、生の植物を手にする機会が激減した今、「いけばな」を真摯に見つめ直すチャンスかもしれません。今回は自分の中の「ひらめき」と「展開させる力」とを合わせ、さらなる作品の可能性について探究します。造形する知恵、変化する技術、そして“新しい自分”の表現を発見する時間を、植物と向き合いながら楽しみましょう。
11/20 (土) ※6/16 (水) より延期。追 加で再募集。	「草月流オリジナル 水差し」を使って 一素材として 花器として一	 粕谷 星華	美しさと機能を備えた「草月流オリジナル水差し」を、別の視点から見つめなおします。異質素材として植物とともに既成の花器を使っていける事・水差しを花器としていける事の両方に取り組みます。見慣れた「水差し」の新しい表現を、一緒に探してみましよう（水差しは当日1つずつ差し上げます！）。
12/11 (土)	スワッグを造る テーマ“いける・ いきる・いのる”	 狩野 朱紅	7月、創造の空間展…石庭・水の空間。アクリルミラー製のひらがな文字 ^{※1} を使って描いた波紋は、天窓から射す光とかすかな水音、移ろいゆく時間によって美しく輝きが増し、そこにたたくむ人々と思いをつなぐことができました。12月の講座ではこの文字 ^{※1} を取り入れて、いけばなのセンスでスワッグ（壁飾り）を造りましょう。 ^{※2} お部屋に新鮮で明るい雰囲気、音楽と共に呼び込んでみませんか。 ※1 創造の空間展で、狩野師範のグループ作品に使用。 ※2 クリスマス用・正月用のどちらかを当日選択（予定）。

●授業時間：11時～16時 ●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）／入会金なし
●申込資格：草指連会員 ●定員：30名 ●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス窓口でお申込みください。【郵便振替口座】口座番号：00180-6-119808 / 加入者名：（一財）草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に（お持ちの方は）メールアドレスをご記入ください。
●申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切ります） ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。 ※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

「理事・顧問昇格試験 体験講座」ご案内

いよいよ草月最高峰の資格に挑戦する皆さまへ、昇格試験模擬講座のご案内です！皆さまからのご要望にお応えし、本番を再現したリハーサル形式で「解答用紙の書き方」や「花型図の描き方」など、合格のためのポイントを小沢清香師範が丁寧に指導いたします。疑問点を解決し、万全の準備で試験に臨みましょう。

東京教室		草月 WEST	
日 時	12月9日(木)10時30分～16時	日 時	12月14日(火)10時30分～16時
会 場	草月会館4階教室	会 場	草月WEST
申込締切	11月30日(火)	申込締切	12月3日(金)

●受講資格：理事・顧問昇格試験受験希望者（お申込み多数の場合、今回受験予定の方を優先とさせていただきます）。昇格試験の受験は、親先生の推薦が必要です。●講師：小沢清香 ●受講料 13,200円（花材費、昼食代込み／東京・草月 WEST 共通）●内容：午前／花型図 基本花型 午後／実技 一種いけばなし（予定）
※内容は変更になる場合があります。
※今年度の昇格試験は、理事・顧問が同日に行われます。東京：2022年1月28日(金) 草月 WEST：2022年1月30日(日)
【申込方法】はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤希望会場⑥推薦者のお名前（親先生名）を明記の上、教室運営課、または草月 WEST の「理事・顧問昇格試験 体験講座係」宛、東京は11月30日(火)、草月 WEST は12月3日(金)までにお申込みください。お申込み後、受講案内と振込用紙をお送りします。 ※お申込み後、今年度の受験予定の有無を確認させていただく場合がございます。

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。
各回とも、講師のデモンストレーションをご覧いただけるようになりました。

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/17時	10時30分/14時	10時30分/14時		
11月	12日	13日	8日	表現素材	川名哲紀
12月	10日	11日	6日	自分で選ばない花器と花材を使って	家元

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料：12,200円（花材費込み） ※受講日に草指連会員証をご持参ください。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。
ワンレッスン受講することもできます。

11月	火曜	2日	中村草山	9日	篠崎洵雅	16日	坂口水恵
	木曜	4日	隅出美泉	11日	岡崎 忍	18日	加藤久美子
12月	火曜	7日	篠崎洵雅	14日	中村草山	21日	隅出美泉
	木曜	2日	岡崎 忍	9日	坂口水恵	16日	加藤久美子

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/17時45分（各日3回開講） ●入会金：11,000円
●月謝：12,040円（月3回分・花材費別） ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,440円・花材費込み／都度払い）。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。
いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

11月	5日(金)	岩 淵 幸 霞	12月	3日(金)	岩 淵 幸 霞
	10日(水)	澤 田 晃 映		8日(水)	澤 田 晃 映
	19日(金)	西 山 光 沙		17日(金)	西 山 光 沙

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●17時45分～19時30分 ●入会金：11,000円 ●月謝：12,040円（月3回分・花材費別）
※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,440円・花材費込み／都度払い）。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

11月	1日	細 野 葉 霞	12月	6日	高 木 水 染
	8日	高 木 水 染		13日	福 島 光 加
	15日	坂 口 水 恵		20日	坂 口 水 恵
	22日	石 川 己 青		27日	細 野 葉 霞
	29日	福 島 光 加			

●毎週月曜日 ●11時～13時 ●受講料：4,140円/1回（花材費込み） ※証書申請可能 ※祝日は休講となります。

本部教室の LINE アカウントができました！ 最新情報をお届けします。

【友だち追加方法】 ●QRコードから LINE アプリで「友だち追加」→「QRコード」を選択し、右のQRコードを読み取ってください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず開講日の前日等に急遽教室の休講が決定する可能性もございます。皆さまに迅速に、確実に教室の開講情報をお伝えするため、LINE 登録へのご協力をお願い申し上げます。



【お知らせ】

『草』269号で募集いたしました下記講座は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、開催時期を延期させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますことを心よりお詫びいたします。

- 「花の達人への道—『総合篇』」
→延期(未定) 開催時期が決まりましたら改めてお知らせいたしますので、再度お申込みをお願いします。
- 「素材の冒険」異質素材は怖くない! Part2
→第1回 9月15日→10月13日へ延期 ※10月13日、11月17日、12月15日、2022年1月19日に実施
- SOGETSU X No.2 「スマホのカメラで探す植物の貌」
→第1回 9月1日→10月20日へ延期 ※10月20日、11月10日、12月1日に実施
- 「公開講座」 「ワイヤー de アート—白ワイヤーを編む—」(平石丹珠萌)
→8月24日(火)→11月23日(火・祝)へ延期 ※受講生募集中
- 「公開講座」 「秋色を集めてライトアップ—雑木と合わせて—」(澤田晃映)
→10月5日(火)→2022年1月11日(火)へ延期

草月 WEST オリジナル講座オンライン発表会

草月 WEST にて開催された講座「『素材の冒険』異質素材は怖くない!」のPart1の最終回では、勉強の成果を発表するためのミニ展覧会に、講師の岡崎忍師範と一緒にチャレンジしました。それぞれが「自分で見つけた素材」を見つめ、個性あふれる作品を制作しました。動画には作家本人のコメントと講評も収録されていますので、そちらもお楽しみください。草月流ホームページでご覧いただけます(右のQRコードからもご覧いただけます)。



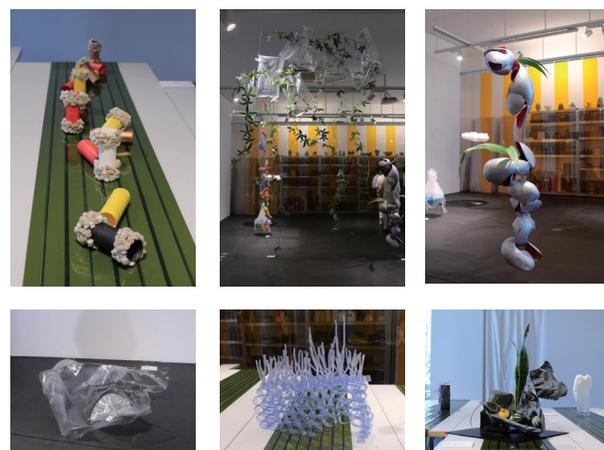
授業風景



講師作品 (岡崎 忍)



受講生作品



家元研究科

講師からはテーマは出ません。受講者自らが考え、自由に植物表現を探究します。新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。※当面の間、金曜夜クラスを休止し、土曜昼クラスを追加いたします。

	金曜	土曜	探究「私の花」 私はなぜ花をいけるのか? 私が目指す植物表現とは? 私が追究したい素材は? 自由花って何? 自分がすべきことは何かを受講者自ら考え、草月らしく自由に楽しく新しく、植物表現を探究しましょう。それを積み重ねてゆくことでそれぞれの「私の花」がより輝きます。講師が今の「私の花」を受講者に披露するデモンストレーションもあります!!	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
11月	19日	20日		小沢清香
12月	17日	18日		日向洋一
2022年1月	21日	22日		小沢清香

●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料(家元): 12,200円(花材費込み) / (本部講師): 10,100円(花材費込み) ※授業開始の20分前から受付を開始します。※当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため受講人数を制限しております。

入会金、再入会金が不要となりました!

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。土曜日 14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます!

11月	金曜	5日	片山 健	12日	石川己青	26日	加藤久美子
	土曜	6日	〃	13日	〃	27日	〃
12月	金曜	3日	中田和子	10日	加藤久美子	24日	中村草山
	土曜	4日	〃	11日	〃	25日	〃

●月3回 金曜・土曜 ●金曜(14時30分/18時30分)、土曜(10時30分/14時30分) ●入会金: 11,000円 ●月謝: 11,000円(月3回分・花材費別) ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能(4,500円・花材費1,700円/都度払い)。 ※見学可能。

再入会金が不要となりました!

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます!

遠方だけ草月流本部講師の授業に参加したい、自粛生活が長くて教室に参加できない、という皆さんにおすすめのプランです。実際の授業と平行して開催されているため、草月WESTで行われている講評をライブ配信で聴くこともできます。お気軽にお問い合わせください。



公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
12月7日(火)	一掛けて楽しむ お正月花—銅板の造形を楽しみながら	 本江霞庭	“置く”から“掛ける”へ。加工しやすい銅板で思い思いの形を造り出し、普段とはちょっと違ったお正月花を楽しみましょう。壁面や空間を、遊び心をプラスしながら植物を加えて自由に飾ります。

●授業時間: 13時~16時 ●受講料: 4,400円(花材費別) ●定員: 20名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切: 開催日の前々週の週末

支部展

鳥取県支部展「花のちから」 Ⅰ期10月16日(土)・17日(日)／Ⅱ期10月30日(土)・31日(日) 皆生グランドホテル 天水	秦野織匂	☎ 0859-34-2601
東京西支部 第25回「よみがえる樹々のいのち」展 10月26日(火)～11月28日(日) 国営昭和記念公園	久保田芳生	☎ 042-521-1434
長崎県支部展「私の花」 11月19日(金)・20日(土)／22日(月)・23日(火・祝)／25日(木)・26日(金)／28日(日)・29日(月) メガネのヨネザワ 浜町店2階	小島星女	☎ 090-5387-5985
徳島県支部展「心おどれ! まっすくに!」 徳島市役所	屋外大作:11月22日(月)～27日(土) 市役所内作品:前期11月22日(月)・24日(水) ※11月23日(火・祝)は開場 後期11月25日(木)・26日(金)	新田隆嘉 ☎ 088-625-6806
東京北支部展「NEXT! ころを結ぶ花」 ※家元出品 2022年2月11日(金・祝)～13日(日) シアター1010	加藤湖昌	☎ 03-3996-4238

フラワー

とらや赤坂本店	10月	10月28日まで	佐藤容星	赤坂見附
	11月	10月29日～11月26日	篠田岳青	
	12月	11月27日～12月25日	稗田紫玉	
ザ・キャピトルホテル東急	10月・11月		杉岡宏美	溜池山王・国会議事堂前
	12月		飯岡湖武孜	
赤坂エクセルホテル東急	常設		御手洗直己	赤坂見附
ホテルニューオータニ東京(ロビー階)	10月12日まで		川名哲紀	赤坂見附・永田町・麴町
	10月12日～11月18日		日向洋一	
[diptyque]Le Grand Tour(ル・グラン・トゥール) POP UP (GYRE表参道 1階) ※要予約	10月10日まで 常設:北内翠潤、久保田芳生、濱田成光 10月9日・10日 「生け花ライブパフォーマンス」:森彩琳			明治神宮前・原宿
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)	常設		深澤隆行	横浜・みなとみらい
ラフォーレ原宿 2.5階 GR8	常設		座・草月	明治神宮前・原宿
座・草月出演 鼓×チェロ×いけばなパフォーマンス公演「祈ること」(草月ホール) 10月20日 ※要チケット チケット予約:カンフェティ https://www.confetti-web.com/inorukoto 問:花プロジェクト部 ☎ 03-3403-5278				青山一丁目
ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3Fロビー)	常設		草月アトリエ	梅小路京都西
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで	10月1日まで		岩渕幸霞	青山一丁目
	10月4日～16日		福永早苗	
	10月18日～29日		坂口水恵	
	11月1日～13日		竹中麗湖	
	11月15日～26日		高木水染	

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。10月16日(土)、11月13日(土)、12月11日(土) ※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

【草月コレクションがご覧いただけます】「壺中日月長 大樋陶冶斎のまなざし」展にて大樋陶冶斎(十代大樋長左衛門)『吹墨飾りのある花器』が展示されます。10月17日(日)まで 石川県立美術館(問:☎ 076-231-7580)

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、広報部までご報告くださいますようお願い申し上げます。[広報部] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:pr@sogetsu.or.jp

以下のイベントは中止または延期となりました。お出かけの際はご注意ください。

【中止】●第67回 草月星秀会展(富山県民会館 地下展示室) 10月9日(土)・10日(日) 問:岡崎忍 ☎ 076-437-4100

●岩手県支部講習会(プラザおでって 3階おでってホール) 11月7日(日) 問:四役滋陽 ☎ 019-623-5548

●広島県支部研究会(広島市南区民文化センター 3階大会議室) 2022年2月20日(日) 問:山上晶絵 ☎ 084-943-5676

【延期】●神奈川県支部展「小さいいけばな展Ⅰ～横浜・三井ホーム～」(tvkハウジングプラザ横浜 三井ホーム) 10月2日(土)・3日(日) →未定
「小さいいけばな展Ⅱ～鎌倉・旧村上邸～」(旧村上邸―鎌倉みらいラポー) 12月3日(金)・4日(土) →未定 問:篠田岳青 ☎ 090-5418-1799

【一部延期】●家元継承20周年記念 草月いけばな展「創造の空間 2021 WEST」(草月WEST) 問:草月WEST ☎ 075-366-3647

6期:8月26日(木)～29日(日) →10月14日(木)～17日(日) 7期:9月2日(木)～5日(日) →10月21日(木)～24日(日)

8期:9月16日(木)～20日(月) →10月28日(木)～31日(日) 9期:9月23日(木・祝)～26日(日) →11月3日(水・祝)～7日(日)

11期:9月30日(木)～10月3日(日) →11月11日(木)～14日(日)

年間行事予定

11月14日(日)まで	家元継承20周年記念 草月いけばな展「創造の空間2021 WEST」(草月WEST内展示スペース「KOTOHA」「PANOF」) ※展示日程は断続的です。一部会期が変更になりました。詳細はホームページ、SNSをご覧ください
10月1日(金)～10日(日)	勅使河原宏芸術祭(越前陶芸村各所) ※竹のインスタレーション制作、福井県支部による展示、ワークショップなどが実施されます
10月11日(月)～12月11日(土)	草月指導者連盟 WEB家元講習会 配信期間(草月指導者連盟メンバーズサイト)
10月19日(火)	財団理事会(草月会館/11時～)
10月24日(日)～31日(日)	YAMANAKA花回廊 PART17(山中温泉/石川県加賀市)
11月11日(木)～12月10日(金) ※期間中断断続的に開催	家元継承20周年記念 第102回草月いけばな展「マイ・ストーリー～私の花語り～」(草月会館)
11月12日(金)～17日(水)	家元継承20周年記念 勅使河原茜展「ひらく」(草月会館別館アトリエ)
11月24日(水)～27日(土)	家元継承20周年記念 特別企画 勅使河原茜展(TERRADA ART COMPLEX Ⅱ4階 タカ・イシイギャラリー/天王洲) ※タイトル仮
12月29日(水)～2022年1月5日(水)	草月会館冬季休館日

本部主催支部研究会・講習会

福岡県支部	10月30日(土)	講習会 パピヨン24ガスホール	片山紅早	☎ 092-843-1875
佐賀県支部	11月23日(火・祝)	講習会 ほほえみ館	田中樹音	☎ 0952-98-2091
大阪支部	2022年2月13日(日)	研究会 大阪市港区民センター	島田真美楓	☎ 06-6370-7331
山梨県支部	2022年2月23日(水・祝)	研究会 山梨県立青少年センター	五味篤憲	☎ 055-253-1660
兵庫県支部	2022年3月13日(日)	研究会 兵庫県民会館 ※2021年10月31日(日)より日程が変更になりました	大向佐都	☎ 079-492-8918

石川県支部主催講習会「伝統と革新の継承―大樋長左衛門氏×家元対談」 12月18日(土) ホテル日航金沢

※同時期に大樋美術館にて家元作品が展示される予定です。詳細は次号、もしくはホームページ、SNSをご覧ください 問:谷口桂朋 ☎ 0761-24-1813

各地の展覧会

桃和会展「想いをつないで」	10月2日(土)・3日(日) 川口緑化センター ^{じょりあん} 樹里安	堂前桃扇	☎ 090-6494-1868
三重県支部「茜家元継承20周年の祝い花」 都ホテル四日市 ロビー 10月8日(金)～15日(金)／10月22(金)～28日(木)／11月3日(水・祝)～15日(月)／12月4日(土)～17日(金)		高木紫星	☎ 059-368-1618
森林公園 Harmony with Nature 「トゥーランドットXIV」2021	10月7日(木)～2022年1月14日(金) 国営武蔵丘陵森林公園 中央口より カエデ園内	金田紫星	☎ 04-2923-8150
たけくらべ～竹の造形/伝統工芸から現代美術まで～ ※丹野霞園 竹のインスタレーション作品展示	10月13日(水)～24日(日) 大崎市民ギャラリー緒絶の館(宮城県大崎市)	丹野霞園	☎ 080-1832-1203
2021 宮下透翠個展&グループ翠SUI展	10月20日(水)～24日(日) セントラルミュージアム銀座	宮下透翠	☎ 03-3395-6822
第4回 耀の会いけばな展	10月23日(土)・24日(日) 北日本新聞ギャラリー	立野藍	☎ 076-421-9610
第22回 大澤秀紅社中展	10月30日(土)・31日(日) 三島商工会議所 TMOホール	大澤秀紅	☎ 090-3305-0995
出村丹雅草グループ「うだつ 藍と花」	10月31日(日)～11月14日(日) 藍商佐直 吉田家住宅 ※5月30日(日)～6月13日(日)より会期が変更になりました	出村丹雅草	☎ 090-4500-0595
井上佐芳社中展「はじまりの時」	11月19日(金)～23日(火・祝) 五台山 竹林寺	井上佐芳	☎ 088-865-5575
第5回 星蘭社中展	11月20日(土)・21日(日) そごう横浜店 9階 センタープラザ	徳久星蘭	☎ 045-391-6684
第3回 北のルビー展	11月21日(日)～23日(火・祝) 六花亭帯広本店 3階弘文堂画廊	鈴木泉晶	☎ 090-9524-7386
Atelier Reio社中展～Deep Autumn 2021～	11月26日(金)～29日(月) ANAインターコンチネンタルホテル東京	モランジュ真紀子	☎ 090-5907-0070
「ARITA×SOGETSU in TOKYO」 レットトライ! デモンストレーション第7期有志	12月14日(火)～18日(土) 草月会館 2階談話室	内藤華了	☎ 090-8434-6998
津グループ展	12月18日(土)・19日(日) 津リージョンプラザ 展示室	稲地爽丘	☎ 059-226-4048
佐倉洋佳と仲間達 hanaシリーズ No.4 ^{ポップ} 木+hana展」	2022年3月19日(土)～21日(月・祝) さいき城山桜ホール ※2021年9月23日(木・祝)～26日(日)より会期が変更になりました	佐倉洋佳	☎ 090-5020-8703

Information

Calendar of Events 2021-2022

- Dec.29 2021 – Jan.5 2022 Sogetsu HQ and Sogetsu WEST close for winter holiday
 - Jan 28 2022 *Riji* and *Komon* Promotion Examination @ Sogetsu HQ
 - Mar 25 2022 Flower Thanks Day
- *Schedules above are subject to change

<Important>

● *Riji* and *Komon* Promotional Examination 2021
We will post letters to overseas First Grade *Riji* teachers (Teaching Members) in mid-October 2021 to ask for their recommendations of applicants to the promotional examination for the *Riji* and *Komon* degrees. Deadline for the submission of the recommendation form is December 10, 2021. If you are interested in taking a promotional examination, please ask your teacher for details.

2021年度理事・顧問昇格試験について

「理事・顧問昇格者推薦についてのお知らせ」は、2021年10月中旬頃、*1級師範理事(指導有)の方に発送します。推薦書の提出期限は、2021年12月10日です。昇格試験の受験をお考えの方は、親先生にご相談ください。

*国内会員の1級師範会理事の方には、9月に発送させていただきました。

The 102nd Sogetsu Annual Exhibition “My Story - Flowers and Me”

After a gap of two years, the Sogetsu annual exhibition is back! Together with the *Iemoto*'s solo exhibition at the Sogetsu Atelier, the 102nd exhibition will be a bright and colourful event to end the year 2021.

Date: November 11(Thu) – December 10(Fri), 2021

Hours: 10:30 - 17:30 (Last admission is 17:00)

Venue: Sogetsu Plaza and Lounge @Sogetsu Kaikan

Admission: Free

*Following the official guidance, we can only accept applications from domestic STA members. Thank you for your understanding.

< Special Photo Exhibition >

How about joining the exhibition with your Ikebana photo ?

The applied photos will be shown on the screen set in the venue.

●Application fee: 11,000 JPY

●Requirement:

- Being a STA member (fully paid-due)
 - Not exhibited in any form of exhibition in the past
- Data Condition
- JPEG
 - Landscape 4:3
 - Size of at least 3 megapixels
 - Resolution of more than 350dpi
 - Not exhibited in any form of exhibition in the past

*The name of the exhibitor will be inserted into the image BY the HQ in unified format.

When you send us your photo data, please write your preferred display name (e.g. only your real name, or

include your Gagoh)

●Application deadline: 25 October (extended)

*the exhibition will be reported on Sogetsu Website, SNSs and the newsletters. We post the photos of the works regularly. Please stay tuned and watch out.
<https://www.sogetsu.or.jp/e/>
<https://www.instagram.com/ikebana.sogetsu/>
<https://www.facebook.com/ikebana.sogetsu>

<Notice for the Branches/ Study Groups>

[Welcome] Branch/ Study Group event announcement/report on Sogetsu website

Now many official groups plan to hold their event on-line(exhibition, demonstration, workshop etc.) Why not invite other overseas members to them by announcing the event on Sogetsu Website? It would be a great chance to see what other Sogetsu friends are doing anywhere in the world. Download the announcement/report form online:
<https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/reports>

Leaflets (English/ Chinese)

The leaflets for 2021 are available. Each Branch/SG will be entitled to 200 complimentary copies sent by air mail (printed matter) on request. Download the order form online:
<https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/leaflets>

Award Winner

We are pleased to announce that the Foreign Minister's Commendations FY 2021 was awarded to Ms. Saveena Gadhoke, Program Chairperson of Sogetsu Delhi Branch, for Promotion of Japanese Culture in India. Our heartiest congratulations for her.

In Memoriam

Mrs. Frances Jackson (Florida, USA) August 2021
May her rest in peace.

Attention Pls

- Please check your e-mail address and reception setting on your PC or mobile phone
- Have you received e-mails from the HQ recently? If not, please check the following two points.
- Your e-mail setting on “reject” e-mails. Are there any from @sogetsu.or.jp ?
 - You changed your e-mail address since you registered as STA members?

Please check your reception setting. You can confirm your registered e-mail address by visiting “Profile” section of the STA members site and the STA annual fee payment sheet (pink form) . Please contact Services for Membership Department for inquiries. We will appreciate very much your attention to this point.

Services for Membership Department :
members@sogetsu.or.jp

20 Year Anniversary
Akane Teshigahara
勅使河原茜 家元継承20周年



A special demonstration by the *Iemoto* will be streamed online for a limited period!

WEB IEMOTO SEMINAR for Sogetsu Teachers Association

< Special Programs >

Iemoto Special Demonstration to mark the 20th Anniversary of the Succession

The latest WEB *IEMOTO* SEMINAR offers a unique program, featuring demonstration by *Iemoto* only. Looking back at her journey from the days working in the PR of the Sogetsu Foundation through to becoming the Vice President, and then finally succeeding as *Iemoto* — *Iemoto* Akane will talk about memorable moments and recall anecdotes from through these years. She presents nine gorgeous pieces of work related to these past episodes during her demonstration.

Many domestic and oversea visits and events are woven into the program. Please refer to “news” section of the STA members site for the featured ones.
<https://members.sogetsu.or.jp/en/news/>
Don't miss this one-time-only program!

Streaming period

2021.10.11 (Mon.) – 12.11 (Sat.)

※subject to change

[Performer/Supervisor] *Iemoto* Akane Teshigahara

[Fee] 6,000 yen (tax included)

[How to watch] Please see the Sogetsu Members' Site.

[Overseas Affairs Department, Sogetsu Foundation]

E-mail: overseas@sogetsu.or.jp FAX: +81-3-3405-4947

Message from Kiri Teshigahara [勅使河原季里より、ごあいさつ]

Dear STA Members,

I hope you are all well, staying healthy and safe at this time.

I'm happy to announce that I have been appointed to the position of "Sogetsu International Director" and will be responsible for deepening relationships among the Sogetsu members of the Sogetsu Branches and Study Groups around the world as well as organizing these exchanges.

Until now, as the Executive Director of Sogetsu North America, I assisted various enthusiastic activities of the members, mainly those in North America, to promote Sogetsu Ikebana. Going forward, I will use my experience to help all of you in your efforts to spread your deep love for Sogetsu Ikebana to the whole world. I know that both *Iemoto Akane* and I will see you during our travels and demonstration tours in the near future. While looking forward to that moment, I wish you all the success in your future endeavors.

We live in uncertain times, but it is my belief that with more faith and resilience, we may together brighten the world through the art of Sogetsu Ikebana.

Starting with the next issue of the Newsletter, there will be a featured article series where I will introduce the activities that I have been involved in to date. I hope you enjoy reading them and get to know me better.

Thank you so much for your continued support!

Kiri Teshigahara

草月指導者連盟会員の皆さま

このたび「草月インターナショナルディレクター」として世界中の会員の皆さまと交流を深めていく役割を担うことになりました。

これまで北米事務局長として、北米草月のメンバーの皆さまとともに、草月を広めるための活動を

してまいりました。今後はこれまでの経験をいかし、皆さまの草月への思いを全世界に広げる活動をさせていただきます。

皆さまとは、世界のどこかで蕎家元と一緒にお目にかかる機会があると思います。その日を楽しみにしつつ、ますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。先の見えない時代ではありますが、皆さまとともにいけばなによって世の中を少しでも明るくしてまいりたいと願っています。

次号から私のこれまでの活動を知っていただく記事をNewsletterに設けますので、ぜひご覧ください。どうぞよろしく願いいたします。

勅使河原 季里

Kiri Teshigahara

Born the eldest daughter of the 3rd *Iemoto Hiroshi*. In 1974, she moved to Connecticut to finish her education. After graduating from the photography department of the School of Visual Arts in 1976, she embarked on her artistic career as fashion photographer for "*Ryuko Tsushin*" and "*High Fashion magazines*" in New York City. In 1985, she became the Director of the Sogetsu New York Branch and then has successfully operated the Sogetsu North America up to now as the Executive Director. She travels between Japan and North America, focusing on curating and organizing art events and exhibitions.

勅使河原 季里

1974年よりアメリカ・コネチカット州に留学。1976年にThe School of Visual Arts 美術学校写真学科を卒業し、ニューヨークで雑誌「流行通信」「ハイファッション」のファッション・フォトグラファーとして芸術活動を開始。1978年ニューヨークで大きな影響力を誇ったパンクバンド「イールドッグ」を結成。1985年草月ニューヨーク支部長に就任。その後、草月北米事務局長を務め、日本と北米を行き来して、アートイベント、展示会の企画を中心とした活動に携わる。



One Two Step 27

My life with Ikebana / Ikuen Sekita

Master Instructors of the HQ talk about their thoughts on ikebana and memorable episodes

Time to immerse ourselves with plants of the season.

Time to create something new driven by inspiration. Time to contend with a trial and error to find a way to realize the vision.

During such blessed times, I can be absorbed in my own creative world and taken out of myself into another sphere.

While nurturing the tradition of Sogetsu Ikebana, I am simultaneously delighted when I find myself in the beautiful world of fresh and free creation. The ever-changing winds of the times bring new moods and illumination to my mind.

I shall continue to seek satisfying expression to resonate with our ever changing daily life.

I love to work with the same materials and see their metamorphosis in my ikebana. I have been involved with Japanese moss persimmon for more than 10 years. Its strong framework and interesting lines of the spindly branches are both fascinating and challenging. What a delight to create completely different expressions of the same material in my composition. I am thrilled to be an ikebanist!

Ikuen Sekita Joined Sogetsu School in 1951. Under the 3rd *Iemoto Hiroshi*, she learned the importance of objective elements in Ikebana. She was appointed as Master Instructor of the HQ by *Iemoto Hiroshi* and continually taught at the HQ. Not only a regular exhibitor at the Sogetsu Annual Exhibition, but organized many solo exhibitions. Her demonstration in the WEB *IEMOTO SEMINAR* Program 3 "Spring flowers" is acclaimed for its originality. Honorary member of Japan Ikebana Art Association Sogetsu Honor Award (1997,2007,2017), Sogetsu Award (2019)



関田育園 1951年草月流入門、1958年より指導を開始する。草月展や様々な展覧会に出品する傍ら、個展「光ファイバーをいける」ほか花展を数多く主催。テレビドラマでのいけばな指導や、数多くの企業のインсталレーションやディスプレイ制作も手掛ける。草月流第三代家元 勅使河原宏の時代から、草月会館での本部教室で講師を務め、直近ではWEB家元講習会「春の花」でデモンストレーションを行い好評を博した。日本いけばな芸術協会名誉特別会員、草月荣誉賞(1997、2007、2017)、草月賞(2019)

本部講師が語るいけばなへの思い、心に残るエピソード

四季折々の植物と真摯に向き合うとき。

一瞬のヒラメキで一気にいけるとき。

作品のイメージをどう表現するか試行錯誤のとき。

どんなときでも無心になれる至福の時間です。

草月いけばなの伝統を大切に、日々変わりゆく時代の風を受け入れ、新鮮に自由で美しい創造の世界に身を置くことの幸せ。

多様化する日常に納得のいく表現を求め、これからも歩み続けたい。

今までも好きな素材を続けて扱い、素材の変化を求めてきました。ここ十数年は苔柿の作品の制作を続けています。苔柿の力強い骨格や小枝の線の面白さに惹かれます。さまざまな枝との出会いを構成によって全く違う表現にできるところが魅力です。



Keep Right on Talking! No.78 : Akane Teshigahara

At the starting point of our creative activities

Once again this summer, we were at the mercy of the novel coronavirus, and before we knew it, autumn had arrived. When the seasons change, we tend to get sick easily even without this situation. Please continue to take care of yourself.

As I informed you in the previous issue, I will hold my solo exhibition also in Tokyo in November at the Atelier behind the Sogetsu Kaikan to commemorate the 20th anniversary of my succession as *Iemoto*, following on from the exhibition held at Sogetsu WEST in July. My memories of this Atelier go back to when I was still a little girl. Back in those days, my grandfather, Sofu, had a house and his studio at the same location. I used to visit there from time to time, but I was so engrossed in playing in the garden of the old Sogetsu Kaikan that I rarely set foot inside. However, I do remember well that he kept a dog and that there was always the smell of wood in the air. He might have used these wood as the ikebana material, but if the size of the wood was just good for ikebana, then they would not have such a strong scent. As my grandfather created many sculptures, he must have spent all his time in the studio, facing these huge trunks and working on his creation, day by day. Then, in April 1984, about a year before I joined the Sogetsu Foundation as a secretary, the current Atelier was completed. At that time, my father, Hiroshi, had his office on the second floor, and I often visited him there.

As I was considering various candidates for the venue for my solo exhibition, the idea of using this Atelier suddenly came to mind. Unfortunately, due to the redevelopment of the surrounding area, the Atelier is scheduled to be moved to another location in the near future. It was such a memorable place for me that I couldn't bear to just close it, so I decided to hold my exhibition here as a grand finale. The decision was not made just because the place will be relocating. This Atelier is the starting point of Sogetsu's creative activities, where Sofu made his works, my father and I developed numerous ideas, and the successive Atelier staff members worked extremely hard. Even a single smear of paint on the floor is something adorable if it were dropped by someone of Sogetsu while sweating over the production. This kind of flavor can

never be exuded in a venue that was designed for exhibitions from the beginning. Sogetsu's creative power dwells in the Atelier as well as the weight of the years accumulated.

Also, frankly speaking, I can do whatever I want to do in this Atelier. I don't have to be overly afraid of scratching the walls or the floor, and it's okay if my work protrudes a bit from the building. Let's say, even if I create an amazingly huge object, I don't have to worry about, "How am I going to carry this to the venue?" or "Can we get this through the loading entrance?" Of course, we will pay sufficient attention to ensure safety, but such a high level of freedom is something that is not possible at other venues. Some of you may be surprised by the somewhat outlandish site, but I strongly believe that there is no better place than the Atelier to express the new possibilities of Sogetsu and our hopes for the future.

Even so, I now face a lot of challenges. Since it is not a place designed for exhibitions, there are no specific flow lines for visitors. Light is another important element in displaying ikebana, so I have a mountain of issues to think about to solve, such as where to place the lighting and how to bring in natural sunlight. However, the more difficulties seem to lie ahead, the more excited I feel—I'm sure it must be a trait of the Teshigahara family. I'm already very enthusiastic about creating an exhibition of my own in this place that must have greatly inspired my grandfather and father. It is frustrating that we are not in a situation where I can say out loud, "Please be sure to visit my exhibition!" but I am looking forward to seeing your smiling faces, just as I experienced at my solo exhibition in Sogetsu WEST.



20th Anniversary Akane Teshigahara Solo Exhibition "RELEASE"

At the starting point of our creative activities.

The Atelier, which we could call the heart of Sogetsu, will be the stage for the *Iemoto*'s solo exhibition. Wait and see how this space is transformed by ikebana.



20th Anniversary
Akane Teshigahara Solo Exhibition
"RELEASE"

Date: November 12(Fri) - 17(Wed) 2021

Opening Hours: 10:30 - 17:30 (Last admission is 17:00)

Venue: Sogetsu Kaikan Annex Atelier (7-2-27 Akasaka, Minato-ku, Tokyo)

Admission fee: 1,000 yen